

第28号

平成23年3月

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつづれん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201



出張活動 特集



桑野公民館「シャボン玉」

2月5日、我々S.P.V科学グループは桑野公民館へ出張でした。テーマはシャボン玉。もちろん单なるシャボン玉ではなくひとまわり大きく割れにくい、あるいは人が入れるサイズへの挑戦です。はじめてのチャレンジ、うまく行くでしょうか…

当日は朝から駐車場にスペースを作り、グリセリンにポリビニルアルコール(洗濯のり)、黄金比の配合率。続々と子どもたちが集まり約70名。なかなか多い。10時ちょうどに開始。プラカップとストローから各々飛ばす道具を作成。早速外に出てシャボン液にひたして…あっという間に歓声の渦。館から持ってきたサッカーボールサイズも次々飛び出し、大小ともども冬の青空に次々と吸い込まれ。

さてあとは人間サイズ。液を張った子ども用プールの真ん中に足場を設けて大きな輪っかを持ち上げて…あれ、うまくいかない。膝丈、腰あたりで壊れてしまう。5回、10回、なかなか上がらない。原因是?粘度が足りない。液の配合比は問題ない。何だ。そうか、大学の製剤学で習ったレオロジーだ。今できること…どうか、温度!冬の寒空では難しい。暖めよう。すぐさま事務所のポットのお湯を頂きよくませて。一回目、腰まで。二回目、肩まで。三回目…ついに成功!子どもはすっぽりシャボン玉につつまれて。一部始終を見ていた子どもたちがあつとい

う間に列をなす。雨合羽を着てもらって、上げる、上げる、上げる、歓声、歓声、歓声…

あっという間に時間いっぱい。今年度も郡山中を駆け回り出張は14回。まず体験、次に楽しい、最後に理解。2011年度も続けていきたいと思います。

(熊本隆之)



こおりやま保育所保護者会主催「もちつき大会」

私にとって保育所関係の活動は初参加でしたが、期待を持って活動の日を迎ました。昨年は、インフルエンザの流行のため断念されたという話を聞いたので、大いに盛りあがるようサポートする気持ちになりました。

まずは、軽快な曲に乗り舞台上で恥ずかしくもなく「鬼のパンツ」を一踊りしてから、周到な準備で臨んだ様々な遊びで楽しんでもらいました。

今回の目玉は「紙とんぼ」だったかな?折り方により、利き手がどちらでも飛ばせるすぐれもの、飛距離を争い、大はしゃぎでした。あやとり、お手玉、折り紙等も教えたり、教えられたり、子供達と楽しみ、短時間に離がたい関係を築けた事には驚きです。

「郡山の歴史かるた」は難しいかなと思いましたが、高学年の男の子が知らない事が解るから面白いと興味を示してくれたり、就学前の女の子は字が解らないからダメと母親に言われていましたが、最初の字だけ読みあげたら、全部クリアでき、母親もびっくりしていました。成長度合が確認でき、良かったのではと思いました。

紙芝居は、演じる側が何か持っていたのか子供達が身を乗りました

今時、なかなか体験出来ない餅つきには、母親、父親、子供が入れ代わりに真剣な面差しでついていました。

風邪というお土産もつきましたが、機会があれば今後も参加したいと思っております。

(佐藤朝子)



スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL024-936-0201

鉄道ジオラマグループ「はやぶさ」とSL

明治五年(1872)鉄道が敷かれて以降、昭和時代までは鉄道輸送が私たちの生活を支え、その主役はSLであった。

しかし、車社会の発展などからSLが廃車され昭和四十三年郡山地区からもSLが消滅したが、その二年後、鉄道とともに栄えた郡山の歴史の象徴として開成山公園に保存された。

私たち旧国鉄郡山機関区のSL機関士らで、このSLの永久保存と「SLの魅力を子どもたちに伝えよう」とボランティア活動を開始して四十年目を迎えた。その後、恒例の郡山市子どもまつりや当ふれあい科学館、イオンタウン郡山、公民館、日大工学部などで鉄フェスを開催。日々、シルバー人材センターでも開催する。

シルバー人材センターでの内容は、主にネットオクなどで収集したグッズ類で作成した模擬運転台の操作展示などであるが、最近なぜか女性ファンが多くなった。

また、ブログ、HP、ユーチューブなどを駆使しファンとの交流を図っている。

昨年六月、小惑星探査機「はやぶさ」が約七年間燃料漏れ、エン

ジンなどのトラブルを乗り越えて六十億キロの長旅を終え地球上に生還し「宇宙史に残る偉業」として全世界を驚嘆させた。

これは、宇宙サイエンスを標榜する当科学館の誇りもあると思う。そして、目的のため大地をしっかりと踏みしめあらゆる困難に立ち向かって突き進む「SL」と宇宙の果てでもぶれるこのなかった「はやぶさ」の姿と共に鳴るものがあり、多くの人たちに夢と希望を与えたことと思う。

鉄道に寄せる想いは人それぞれと思うが、これからもこの一途なSLの心意気を愛し続けていきたいと思う。

(瀧田上之助)



平和な日々に思う



女子学生が友達と口論になり、その中にイスラム教を冒涜したことでの死刑の判決がでたというニュースが届いた。

日本でもキリスト教弾圧の歴史があるが、有難い事に同一民族で仏教、神道が共存してきたことが争いを無くしたのである。

平安時代の400年、江戸時代の250年の平和は特筆される。

しかし、郡山でも戦火はあった。南北朝時代大阪で楠木正成、新田義貞が後醍醐天皇の命を受け挙兵したとき、岩瀬、安積の兵3,000人が派遣された。敗れた義貞の孫が三春田村家を頼り宇

津峰山で最後の合戦になる。敗れて賊軍とされてきたが、明治天皇のお言葉で復権、皇居に正成の銅像が建てられた。

また、伊達正宗26歳のとき、会津芦名、須賀川、白河、石川の連合軍と戦ったのがビッグアイ下の逢瀬川で、正宗の身代わりで戦死した伊東肥前の碑が久保田日吉神社にあり、毎年10月27日に肥前祭が行われている。

維新戦争では、会津軍により郡山の街が焼き討ちにされている。そして、昭和の大戦ではアメリカのB29の爆撃で日本化学、保土ヶ谷化学、日東紡富久山などの工場群が爆破され500人が死亡している。平和なこの地にも争いの傷跡は残っている。(新田彌)

科学グループ ボランティア活動



夕方の仕事に移り時間が有り余ってきて何か物足りなさを感じていた時期、私でも何か役立つ事があればと昨年4月に応募しました。

研修を終え、7月から活動が始まりました。月2回程のセンターでの活動・館外活動・勉強会・研修旅行と楽しく過ごしています。

夏休みに公会堂で行われた館外活動には、大勢の子ども達が集まりました。1つのテーブルに6人程の子どもが座り、「先生」な

どと呼ばれながら「ぶっとびロケット」「プラアクセサリー」の工作を手伝いました。

さまざまな子どもが夢中になって作っている姿に接すると、自分が学ばせてもらっている感じがしてきます。



まだボランティア初心者ですが、これからもこのペースで楽しく続けていきたいと思っています。皆さんよろしくお願いします。

(本間 實)

天ボラの

知識の泉

●シリウス

みなさんは「シリウス」という星を知っていますか?この星は、おおいぬ座の目印で、全天の恒星達の中で1番明るい星です。シリウスは「焼き焦がすもの」という意味の名前で、その輝きの強さを表しています。目立つシリウスには、日本独特の呼び名「和名」も数多くつけられています。例えば、青白い輝きの色にちなみ「青星」、シリウスが見えてくると雪が降るから「雪星」、またシリウスは、瞬きながら色が変わることから「絵の具星」とも言われています。この時季、まだ宵空に、この星の輝きはご覧いただけます。皆さんには、どんな色に見えるか体験してみてください。



天文グループ



天文ボランティア出張活動 郡山市青少年会館

天文グループは、平成22年10月23日(土)に、郡山市青少年会館「宿泊教室」で出張活動を行いました。

当日は満月だったので、月の話をしました。持さんお手製の太陽系モデルには、参加者もその出来栄えにびっくりでした。

その後、駐車場に移動して星空観望会を行いました。

西に傾いた夏の星座、秋の星々、望遠鏡で見るベガの純白、木星の縞模様、そしてまぶしい満月、寒い中みんな元気に星空を楽しんでいました。参加者のみんなから質問もたくさん出て、とても充実した出張活動でした。



天文ボランティア天体写真展 「レンズの中の宝石箱in東邦銀行本店」

星空の美しさをより多くの人に知ってもらいたい、非日常の世界から心の安らぎを感じていただければと思い、天体写真の巡回展「レンズの中の宝石箱」を企画し、さまざまな場所で開催しています。

今回は、福島市の東邦銀行本店ロビーで、お正月明けの1月6日～27日まで開催しました。

K作「んー…」 S1「どうしました?」

K作「やっぱり、写真より実際の星空の方が良いよねー」

S1「それをいっちゃん…」

(齋藤正一)



案内サービスグループ「子どもの暮のつどい」での交流を通して



「水の道、猪苗代から安積野へ」「郡山歴史カルタ」を読むやいなや、高学年の女子がすばやくカルタに手を伸ばしました。熱気あふれるカルタ取りの光景です。ここ安積学習センターの体育館のあちらこちらで元気いっぱいの子供達の声が響いています。

12月5日(日)今日は安積町の「子ども暮のつどい」のイベントにお誘いをいただき、案内ボランティア9名が出張活動でおじゃましています。広い体育館には安積町の各小学校の児童の皆さん約250名が集まり、学年毎に分かれで餅つきや消防自動車の見学や体験、そしてお手玉や紙工作等、いろいろな昔遊びを楽しんでいます。

あやとりコーナーでは、中学校の男子が初めての「ほうき」作りにチャレンジしています。ボランティアの指先をしっかりと見ながら、繰り返し何回も取り組んでいます。根気強く挑戦する姿に感心させられます。そうしているうちに、「できたあ!」の歓声が上がり、達成感あふれる満面の笑みが見られました。「今日、来てよかったです!」とつぶやきが聞こえた時、ボランティアもうれしくなりました。

活動にやりがいを感じる瞬間です。その他、保護者や地域の皆さん、学習センターの職員の皆さん方には、いろいろとご配慮いただき、大変お世話になりました。御礼申し上げます。

今後もこのような出張活動に積極的に参加し、子供達や地域の皆さん方との交流を大切にすることにより、微力ですが、子供達の健全育成のためのお手伝いをしていければと考えております。最後になりましたが、ふれあい科学館では一年間をとおしてスタッフがたくさんの素敵なイベントを企画しております。どうぞ、こちらの方へも足を運んでいただきたいと思います。皆さんの来館を心よりお待ちしております。(武田)



内田博士の魂の叫び!! ㉗『もっと簡単にならんのか…』

意気込んでIpadを契約に行った義父。クレジットカードを持っていなかつたために、24ヶ月割賦購入(実質機種代金0円)が出来ずしょぼくれていた。「最終的には同じ金額が口座から引き落とされるのに、まったくワケがわからない!」と。そこでデビットカードの存在を説明するも、「VI○A」のロゴが表記しているのを目についただけで、「結局はクレジットじゃないか!」と。確かに、海外でレンタカーを借りる際やホテルにチェックインする際もクレジットカードの認証が求められることも珍しくない。勿論、借りげや食い逃げの際の補償としてだが。携帯端末機もそう考えれば十分

それに該当するが彼にはそこまで説明する必要もなさそうだ。彼の感情を逆撫でするだけだし、論点がズレていくのも目に見える。彼の結論は「クレジットで借金する奴が得をして、きっちり現金で決裁する人が損をする時代。どうなってんだ!今の日本!!」と。(言いたいことは理解出来なくもないけど、結局はそういう結末になってしまうのねえ。)後日、一括払いでのIpadを購入し、孫達のヒーローに!それなりに満喫している義父であった。

スペースパークボランティアの会 ボランティア大募集

募集期間／2011年3月1日(火)～4月30日(土)まで ※期間外でも随時募集しております。

郡山市ふれあい科学館の「スペースパークボランティアの会」では、「案内サービス」、「鉄道ジオラマ」、「科学」、「天文」のボランティアを大募集します。ぜひ、“みんなの科学館”と一緒に楽しみましょう!

応募条件

- 科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方。
- 15歳以上(中学生を除く)で健康な方。
※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- 無償で参加可能な方。
※昼食代、交通費等の支給はありません。

応募方法

募集チラシの応募ハガキに必要事項を記入し、郵送または、郡山市ふれあい科学館22階インフォメーションカウンターへご持参ください。

★詳しくは、下記までお問い合わせください。

今号のきら星☆さん 鉄道ジオラマグループ 国分辰夫さん



「出発進行」「通票ヨシ」(タブレットともいう)、「発車」汽笛一声で動き出し、徐々に出力を高め、スピードをあげる。この場合、「通票ヨシ」は、昔でいう通行手形があるかどうかを再確認の意味で呼称するものであり、次の駅まで他の列車がいないから安心して運転してくださいとの約束事である。この合図で運転を始め、これによって正面衝突を防止していた。この方式を通票閉塞式といい、主に単線区間で行っていた。

新幹線運転もさることながら、それ以前から車

両の近代に伴っては、列車本数も増加し、お互いに確認する時間もままならず、線路も複線化し、上下列車の運転線路も決まっているため、一区間に1本以上の列車を運転できるよう、信号機の表示(赤・黄・緑)の色別により、列車運転の条件を付し、安全を保っている。この方式を自動閉鎖式といって、あくまでも信号のみで動いているわけで、道路上の自動車運転も信号厳守という意味では、全く同じであるから、自動車運転の場合も信号の見落しによる事故のないよう注意してほしい。

S.P.V 活動情報(~6月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案内サービス “昔懐かし”紙芝居 (約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内 (約20分)

◇11:00～、15:00～、17:00～ ☆展望ロビー(東)

科学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

天 文

天体観望会

◇4/9(土) 19:00～20:00 ☆郡山駅西口駅前広場

◇5/7(土) 19:00～20:00 ☆郡山駅西口駅前広場

◇6/11(土) 19:30～20:30 ☆郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第29号 6月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集
あとがき

(国) 寒さも彼岸までと言われるが、余寒きびしく体調崩さないよう注意しよう。

(隆) 若田さんISS(国際宇宙ステーション)船長決定!おめでとうございます。

(猪) “春”的巢立ちの季節と出会いの季節。今年はどんな出会いがあるかな?

(椎) “星”も良いけれど“月”も、ですね。



この印刷物は、環境にやさしい大豆油インキと
FSC認証紙を使用しています。
紙へリサイクル可。